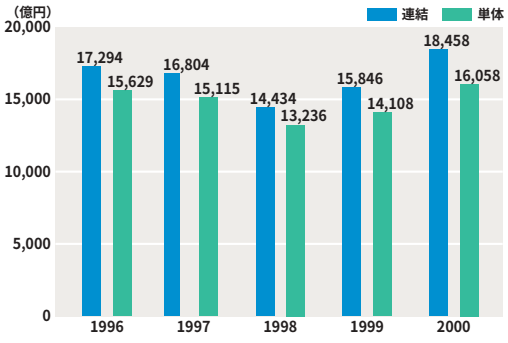
経済パフォーマンス

2000年度は、日本国内の石油製品の市場競争激化によるマージンの低下、高値で推移する原油価格、円安など石油業界を取り巻く厳しい環境の中、当社は、「最強のコスト競争力のコスモネットワーク」の実現、「真に顧客に愛されるコスモネットワーク」の実現を経営のテーマに掲げ、企業価値向上に向けた経営努力を続けてきました。

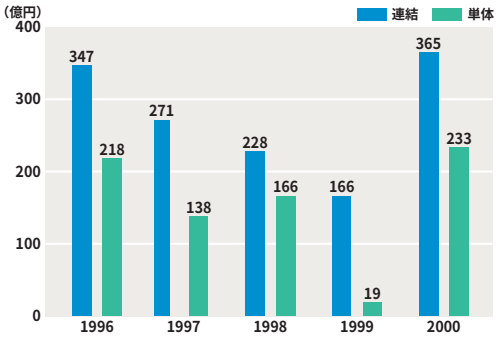
経営成績につきましては、単体では売上高は原油価格の上昇などが影響し増加、収益は合理化の積み上げや市況の改善などのプラス要因に加え、棚卸し資産の評価方法を変更したことから、増益となりました。連結においても石油開発部門で原油価格の上昇により業績が好調であったこと、販売部門の集約などによる効率化で増益を確保しました。

資産につきましては、SS資産の証券化や資産の売却、投資の抑制などの施策を推進し、バランスシートのスリム化を推進しています。資産効率の向上を通じて企業価値の向上を図っていきます。設備投資につきましては、減価償却費の範囲内を基本に環境対応、安全操業のための重点投資を行っています。

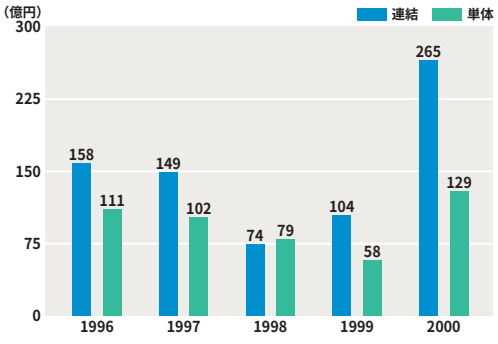
売上高



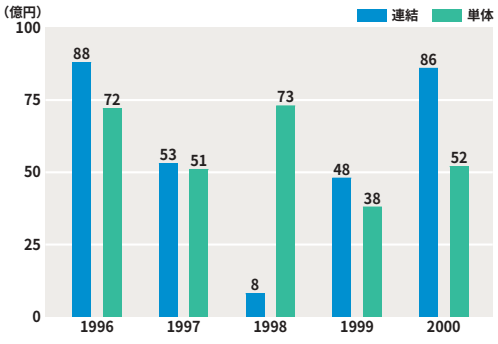
営業利益



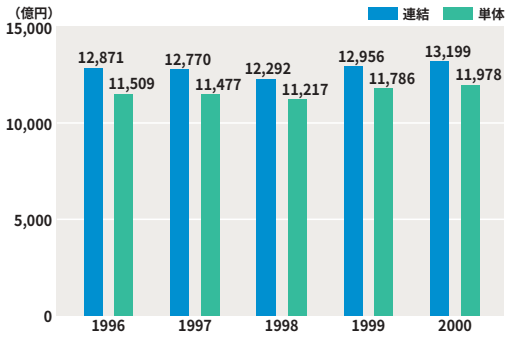
経常利益



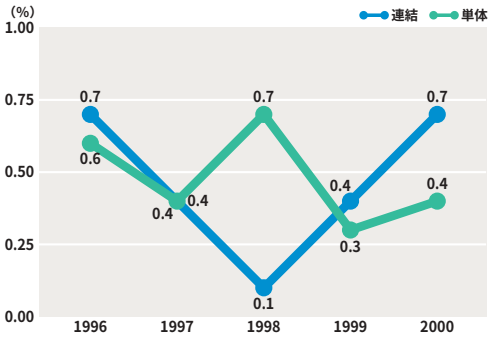
当期純利益



総資産

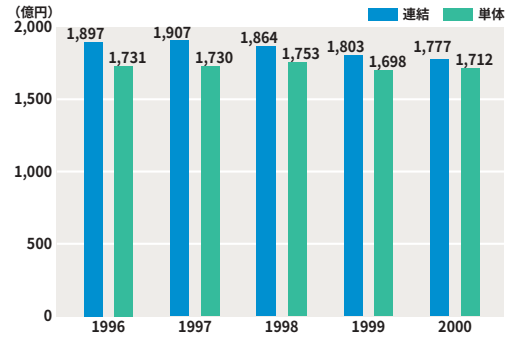


総資本利益率(ROA)

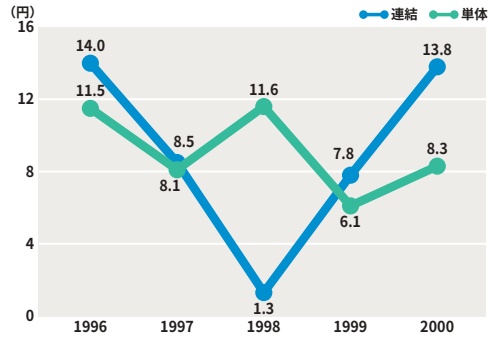


●総資本利益率＝当期純利益÷総資本

株主資本

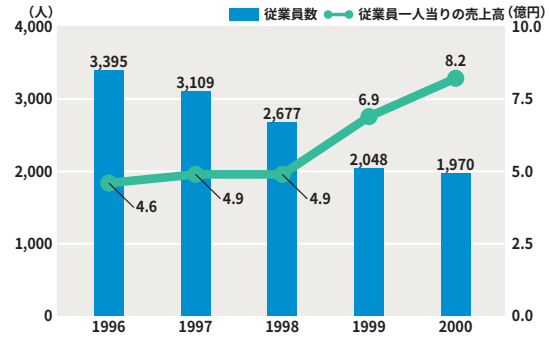


一株当りの当期純利益(EPS)

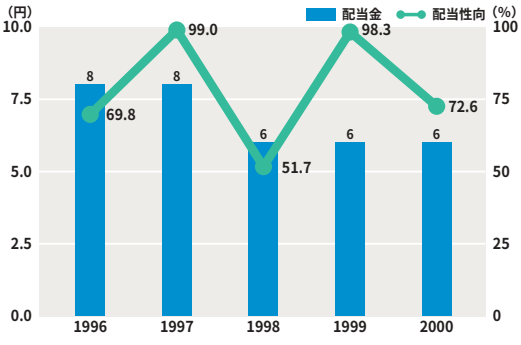


●一株当り当期純利益＝当期純利益÷発行株式数

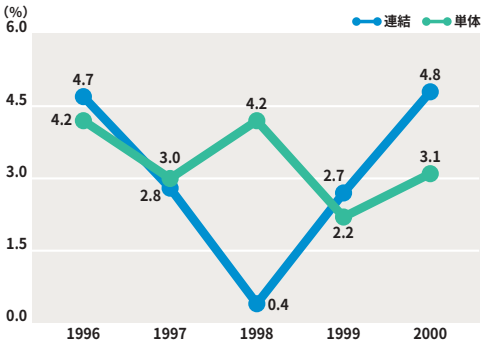
従業員数と従業員一人当りの売上高(単体)

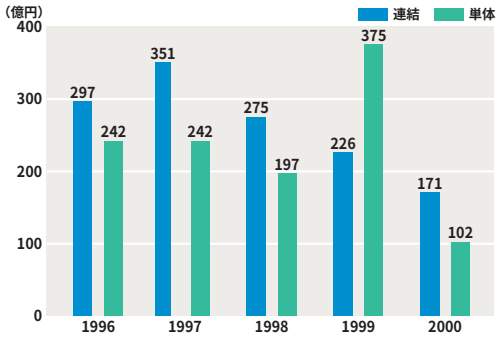


配当金と配当性向



株主資本利益率(ROE)



●株主資本利益率＝当期純利益÷株主資本

設備投資額